

## 日蓮上人ゆかりの寺からモミ・ツガの道を歩く 清澄寺～元清澄山

実施日	2010年3月22日(祝・月)
天候	晴
リーダー	涌井 良明
参加者	上野キヨ、佐藤金治、山口駿三、馬場清士、福島政幸、涌井良明、鈴木恵美子、荻野智恵子、中村友子、伊東久雄 計 10名
費用	東京 安房天津/鴨川 7,020円(特急利用)、鴨川市コミュニティバス 570円 計 7,590円
タイム	安房天津駅(9:10～9:17バス)清澄寺(9:30～9:46)元清澄山入口(11:04～11:10)元清澄山(12:14～12:45)昼食)休憩(14:05～14:10)林道(14:43)金山ダムバス停(15:03～15:35)安房鴨川駅(15:55～16:07)
データ	積算距離 15.5km 総上昇量 518m 活動時間 5時間34分 移動時間 4時間27分 停止時間 1時間07分 移動平均速度 3.5km/h 全体平均速度 2.8km/h



安房天津駅前からワゴン車の市営コミュニティバスで清澄寺へ、日蓮宗の四霊場で国指定天然記念物の千年杉もあって立派な寺だった。お参り後少し参道を戻り、大きな黒いゲート脇の鉄柵から郷台林道に入り、長い林道歩きを進む。所々展望が開け房総の複雑な山並を見たりしながら 11時過ぎに元清澄山の入口に着き林道と離れる。が登りではなく山腹に絡んだ横歩きの道が続く、路端は手摺柵が整備され、いかにも遊歩道の雰囲気だが深山の感じもあり歩く人はあまりいないのではと思われるふれあいの道である。

これまでの房総



=南国といった雰囲気をは無く、鬱蒼とした山のトラバース道といった道が続く、一旦林道を経由してから階段道に入ると山道らしくなり、道が痩せているところには注意看板も設置されている。小ピークの三石山を過ぎ、最後のちょっとした登りが終わると元清澄山山頂に着く、樹木に囲まれ展望はなく、三角点脇に標柱とベンチがあった。我々の他にはお店を開くパーティもなく静かな山頂で昼食にした。

行程は半分チョットであり、あまり長居は出来ないので、セレモニー(集合写真撮影)を終えて金山ダムへ向かって歩きだす、がしかし!



関東ふれあいの道も実は侮れなかった。山頂までの行程とは様変わり(道自体は問題なし)となり、痩せ道、鎖場の下り、そして小ピークや小尾

根をいくつも越すが、そのどれも登った分だけ忠実に下り、また次の登りになるといった道でしかも歩きにくい階段道になっていた。楽な下山道をイメージしていたこともあって、十分に楽しませていただきました。左にゴルフ場の人口美景でほっとして右下にダム湖が見えてくると登降も収まって樹林の下りから林道へ出る。赤い吊り橋を渡り、トンネルを二つ抜け、鴨川有料道路に繋がる道に出た所に金山バス停があった。



オトサン(白犬)と近くにあるとみられる射撃場のノイズの中でバス待ち時間を過ごし、今度は真新しい中型のコミュニティバスで鴨川駅へ出て山行は解散、ヤレヤレ。

直帰組と階段道が歩き足りないメンバー(途中下車で更に階段の登降をしたようだ)と分かれて帰宅となった。

皆さん充分ふれあいましたか?

(記&写真・涌井 良明)